

郷土資料の 散歩道

図書館郷土資料室

☎21-61111内線6201

東講商人鑑

商人のための旅行ガイドブック

今回は『東講商人鑑』という各地の旅籠(旅館)・商店名を掲載した冊子を紹介します。安政二年(一八五五)に出版されたもので、米沢図書館では「興讓館本」に一冊所蔵しています。

東講とは江戸の商人大城屋良助が創設した、東日本を中心とする旅籠の組合のことです。江戸時代後期には旅が盛んになり、街道筋には旅籠も増えますが、中には一人旅の宿泊を断る



『東講商人鑑』の中の挿絵
「東講」の看板が掲げられている定宿で、客を出迎える様子が描かれている

宿や料金を吹っかける宿があり、良い宿を探すのに苦労しました。そこで、優良旅籠を指定した浪花講や東講などが組織されました。加盟の宿には目印の看板が掛けられ、講加入の商人は鑑札(証明書)を持って旅し、安全に良い宿を見つけることができました。

『東講商人鑑』には各地の指定宿と講加盟の商人二八二軒が掲載され、町の名所旧跡を描いた挿絵もあり、商人の旅行ガイドブックといえます。

米沢城下の商人達と宿

『東講商人鑑』に載る羽州置賜郡米沢城下の商人と宿は三七軒あります。すべて紹介できませんが、次に主な商人と定宿をあげてみます。

和漢薬種店 東町 遠藤寛左衛門
万小間物所 桐町 大城屋清兵衛



米沢城下諸商人細見(部分)

太物線綿卸	桐町	寒河江佐右衛門
万錫物師	銅屋町	鈴木清兵衛
いさば問屋	大町	高橋嘉左衛門
御菓子所	大町	玉屋久左衛門
木綿線綿	柳町	平野屋孫三郎
糸問屋	東町	藤屋富蔵
問屋	東町	石田名助
東講定宿	東町	福島屋喜六

様々な業種の商人が載っています。呉服太物、糸織、線綿等の織物を扱う商人が一五軒と多いようです。町ごとで見ると、大町が一七軒と多く、桐町七軒、立町と東町が四軒、銅屋町三軒、柳町と北町が一軒となります。なお、この冊子は東講加盟者だけが購入できたもので、奥付にある持主記名欄には「米沢大町大和屋本 渡部氏蔵書」の印があり、大町の大和屋が所

有していたものとわかります。大和屋渡部伊右衛門は古手(古着)・太物(反物)・質店を商う米沢城下一、二の大商人で、大町(現・米沢税務署)に広大な屋敷を構えていました。

温泉・寺社等の名所図も注目

各地の名所旧跡の挿絵も多く入っていますが、米沢付近では「小野川の図」、「米沢城下の図」、「笹野観音の図」、「白部(布)高湯の図」が載っています。温泉の図には、尼湯や滝の湯等の浴場や温泉宿が細かに描かれ、当時の温泉街の様子がわかります。

この『東講商人鑑』は、江戸時代の旅行形態を伝えると共に、江戸末期の米沢城下の商人達や温泉街を垣間見せてくれる、大変面白い資料です。



小野川の図